

## 学年担任制における教育相談体制について

栗ヶ沢中学校では生徒個人の持つ悩みや問題の解決を援助するために教育相談部会を設置しています。子ども達が抱える「悩みごと」や「困りごと」を早期に捉えてチームで支援するために、定期的に情報交換を行い、指導方針・支援体制の確認を行っています。また、教員の援助により、次のような力が身につくよう支援しています。

- 自らの決定で望ましい人間関係を築けるようにする
- 社会性の伸長を図り、好ましい人間関係を作れるようにする

### 全職員で全生徒を…

生徒に関わる全ての教員が生徒個々の「小さな変化」に気付き、情報の共有を行っています。各学年に教育相談・不登校支援担当を置き、支援が必要な学年生徒の掌握に努めています。「小さな変化」を見逃さず学年で共有し、教育相談部会に提案する情報をまとめます。

- 学年担任制の機能を生かして… ○ 教科担任制の機能を生かして…
- 困りごとアンケートややりとり帳の記録から… ○ 欠席の記録から…
- 相談しやすい先生の存在… ○ 部活動内での様子から…

### 教育相談部会では…

校長・教頭・教務主任・養護教諭・スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）が週1回の会議に同席し、各学年担当から提案される事案に対して支援の方法を決定します。

《専門家の見地も生かして…》

スクールカウンセラー 毎週水曜日 相談の予約も可能です	《専門分野》心理の専門家 《活動内容》保護者・教職員との面談 児童生徒とのカウンセリング
スクールソーシャルワーカー 栗中に2名常駐 家庭内の困りごと 相談可能です	《専門分野》家庭生活の悩み 《活動内容》保護者・教職員との面談 家庭訪問・市役所担当課との連携 生徒の登校・学級復帰支援

### 定期面談・教育相談

栗中では教育相談活動として定期的な面談（二者面談・三者面談）を実施しています。面談では生徒・保護者の皆さんの希望に応じて面談者（教員）を選択し、面談をすることができます。

《定期面談》

- 4月～5月 適応状況の確認（生徒との二者面談）
- 7月～8月 1学期の生活について（三者面談）
- 9月 教育相談週間（生徒との二者面談）
- 11月 前期の生活について（保護者とのとの二者面談・三者面談）
- 通年 自発相談・チャンス相談・呼び出し相談・保護者相談・やりとり帳

自発相談：生徒が自主的に来る相談 チャンス相談：生徒の異変に気づき実施 呼び出し相談：生徒指導上の問題が発生した場合に気がかりな生徒に対して実施

- ※ 困りごとや悩み事を一人（家庭）だけで抱え込まず、教育相談機能を是非活用してください。
- ※ 全職員が相談窓口です。相談先に迷った場合は学年主任や学級事務担当にご相談ください。